

モーツァルト室内管弦楽団 第177回定期演奏会

〈モーツァルトの華麗なる二重協奏曲〉



《ヴァイオリン》

ギオルギ・ババゼ



《ヴァイオリン》

チプリアン・マリネスク



《フルート》

大江 浩志



《ハープ》

石井 理子



指揮◆門 良一

モーツァルト

《バスティアンとバスティエンヌ》によるシンフォニア K.50

フルートとハープのための協奏曲 ハ長調 K.299

2つのヴァイオリンのためのコンチェルトーネ ハ長調 K.190

交響曲 第29番 イ長調 K.201



2017. ※開演時間にご注意ください ※開演10分前より指揮者によるプレトーク有

7/19 (水) いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

2:00pm開演(1:30pm開場) 入場料：一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

主催◆NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org> 協賛◆いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail:artists@gol.com

〒530-0041大阪市北区天神橋3-3-3南森町イシカワビル507 URL:<http://www.oaa1985.com/>

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:54046)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。

モーツァルトの華麗なる二重協奏曲

18世紀のある時期、複数の独奏楽器のための協奏曲、いわゆるサンフォニー・コンセルタン（協奏交響曲）がパリやロンドンで大流行した。遠く田舎町ザルツブルクにいたモーツァルトにもその雰囲気は伝わっていたらしい。モーツァルトは「マンハイム・パリ旅行」に出かける3年も前に「2つのヴァイオリンのためのコンチェルトネ」を作曲するが、これは後にマンハイムの音楽家たちから「この曲は全くパリ向きだ」と称賛されている。その本場のパリでモーツァルトは「フルートとハーブのための協奏曲」を作曲する。これは「協奏交響曲」と名付けられてはいないが、フルートとハーブという複数の独奏楽器のための協奏曲にちがいはない。これら2曲は当時最大の音楽消費都市であったパリに実にふさわしい、モーツァルトはそれぞれの独奏楽器に華麗なオペラの名場面を思わせるような個性的な音楽を与えているのだ。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シテオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。2017年1月にNPO法人となる。

ギオルギ・ババアゼ●ヴァイオリン *George Babadze, violine*

ジョージア(旧グルジア)・トビリシ出身。国立トビリシ音楽院卒業後、研究科を経て大学院に進み、指揮法を学ぶ。1988年より2年間バトゥミ市交響楽団の指揮者。90～93年ジョージア音楽協会室内管弦楽団の芸術監督及び首席指揮者。93年にイタリアへ渡り、ジョージア弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。96年大阪シンフォニー交響楽団のコンサートマスターとして来日。98年よりトビリシ弦楽四重奏団、アフターアワーズセッションのメンバーとして参加。2001年より関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター、05年より関西シティフィルハーモニー交響楽団の常任指揮者、06年ジョージア国立歌劇場の客演指揮者、10年よりジョージア国立交響楽団、ジョージアン・シンフォニー室内オーケストラ、トビリシ音楽院交響楽団の首席指揮者に就任。11年よりルーマニアのズプリング・フェスティバルに招かれ、オラデア・フィルハーモニーを指揮。これまでに阪大オペラ、堺シテオペラを指揮。現在、指揮者、及びヴァイオリン奏者として演奏活動を行う傍ら、京都市立芸術大学非常勤講師、神戸大学や京都大学の学生オーケストラのトレーナーとして後進の指導にもあたっている。

チプリアン・マリネスク●ヴァイオリン *Ciprian Marinescu, violine*

ルーマニア・ブカレスト出身。6歳でジョルジュ・エネスク音楽高等学校に入学、16歳で同音楽学校のスポンサーのもとルーマニア各都市にてリサイタルツアーを開催。卒業後、ブカレスト国立音楽アカデミーに入学し、1990年卒業までアモニアカルテットのメンバーとして活動。1992年ルーマニア国立オーケストラのアシスタントコンサートマスターに就任すると同時にブカレストのヴィルトゥオーゾ・オーケストラにも加わり、西欧各国を定期的に演奏ツアーに回る。1998年に居を日本に移し、大阪交響楽団、トビリシ弦楽四重奏団のメンバーとして演奏活動を行う。2004年ブカレストのコンセルティノ室内オーケストラのコンサートマスターに就任。ここ10年間では、ルーマニアの著名なオーケストラの指揮者としてデビューを果たし、2013年ブカレストのエネスク音楽祭では日本のハーモニクス室内オーケストラを率いて参加している。現在、大阪のハーモニクス室内オーケストラの指揮者兼コンサートマスターとして活躍する他、大阪、京都、東京にて室内楽やソロとして演奏活動を展開している。また、ヴァイオリン指導にも熱心で、日本の将来のある若い才能の発掘・発展に深く貢献している。

大江浩志●フルート *Hiroshi Oe, flöte*

明石市出身。京都市立芸術大学を卒業後渡独。国立マンハイム音楽大学芸術家養成課程を最優秀の成績で卒業。帰国後は、ソロ、室内楽、オーケストラなどを中心に活動している。また、邦人作品や新作発表にも積極的に取り組んでいる。89、97、07年大阪にてソロリサイタル開催。97年西オーストラリア・パースの招聘により『ひょうご文化ウィーク』にて独奏。08年NHK-FM『名曲リサイタル』に出演。平成8年度「坂井時忠音楽賞」受賞。現在、大阪音楽大学、相愛大学、ムラマツフルートレッスンセンター各講師。モーツァルト室内管弦楽団首席奏者。《アンサンブル・ダンツィ大阪》及び《アンサンブル135》メンバー。伊丹シティフィルトレーナー、明石フィル演奏委員。神戸音楽家協会会員。一般社団法人日本フルート協会代議員。

石井理子●ハーブ *Michiko Ishii, harp*

相愛高校音楽科を経て、大阪音楽大学卒業。現在、フリーのハーピストとしてソロの他、アンサンブル、オーケストラ等で演奏活動を行い、数多くの演奏会に出演。また、大阪有線放送のレコーディングにも参加している。96年俳優の江守 徹氏と「志賀直哉の世界」で共演、好評を博し、以後4ヶ所で再演された。96、98年デュオリサイタル開催。2011年「ロマンティック・ハーブ～石井理子と仲間たち」開催。2013年帝国ホテルチャペルコンサートに出演。2016年東京と大阪でデュオリサイタル開催。2017年4月CD「Duet」リリース。田淵順子、海川佳代子の両氏に師事。日本ハーブ協会会員。